

平成21年度消費者物価指数の概要

1 概況

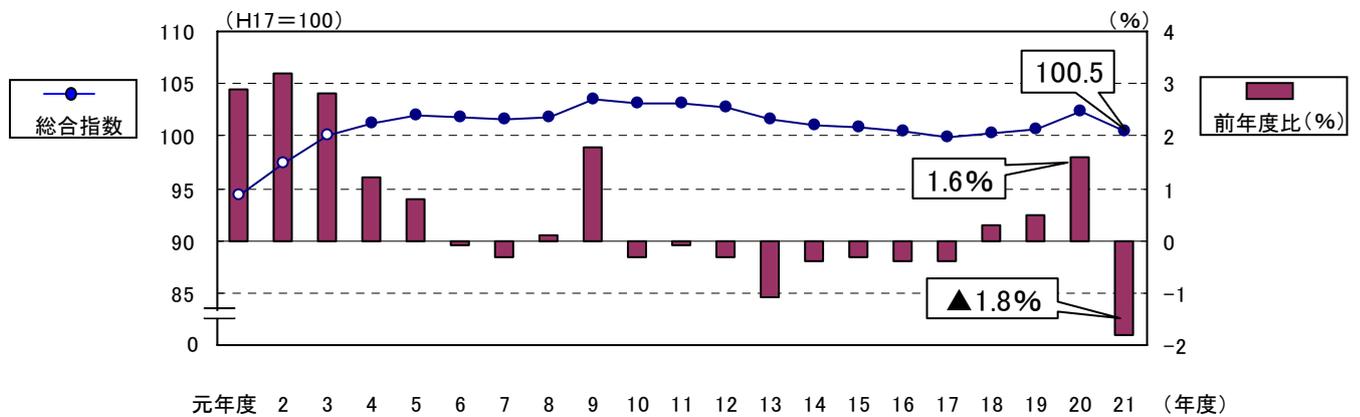
～総合指数の前年度比は過去最大の下落幅～

- 広島市の平成21年度平均総合指数（100.5）は、4年ぶりに前年度の水準を下回った。
- 総合指数における前年度比は、比較可能な昭和45年以降で最大の下落幅（▲1.8%）となった。

総合指数年度平均の推移

(H17=100)

年度	元年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
指数	94.4	97.3	100	101.2	101.9	101.8	101.6	101.7	103.5	103.2	103.1
前年度比(%)	2.9	3.2	2.8	1.2	0.8	▲0.1	▲0.3	0.1	1.8	▲0.3	▲0.1
年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
指数	102.7	101.5	101.1	100.8	100.4	99.9	100.2	100.7	102.3	100.5	
前年度比(%)	▲0.3	▲1.1	▲0.4	▲0.3	▲0.4	▲0.4	0.3	0.5	1.6	▲1.8	



2 費目別指数の動き

～10大費目での上昇は教育のみ、多くの費目で下落～

- 平成20年度に、原材料高に伴って上昇したガソリンを含む自動車等関係費やガス代等が、平成21年度では、反対に大きく下落した。
- パソコン等の教養娯楽用耐久財や電気冷蔵庫等の家庭用耐久財は下落に寄与した。
- 10大費目では授業料等の上昇により、教育指数のみ上昇した。

上昇に寄与した 主な項目	教育	私立幼稚園保育料等の授業料 等
下落に寄与した 主な項目	光熱・水道	ガス代、電気代 等
	教養娯楽	パソコン（ノート型）等の教養娯楽用耐久財 等
	交通・通信	ガソリン等の自動車等関係費 等

10大費目別指数及び前年度比

(H17=100)

費目	食料		住居	光熱水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	生鮮食品	果物									
指数	103.7	96.3	100.3	104.9	86.3	104.9	97.8	98.1	106.0	94.5	101.8
前年度比(%)	▲0.9	▲3.7	▲0.3	▲6.2	▲6.4	0.0	▲1.2	▲3.1	0.8	▲2.6	▲0.7
寄与の大きな 主な中分類	果物	-	家賃	ガス代	家庭用耐久財	シャツ・セーター類	医薬品・健康保持用摂取品	自動車等関係費	授業料等	教養娯楽用耐久財	身の回り用品
前年度比(%)	▲7.1	-	▲0.5	▲10.7	▲13.4	▲4.0	▲3.6	▲4.6	0.6	▲25.1	▲4.9